



発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設「まきよう苑」(年4回発行、創刊2016年4月1日) 〒259-1126 神奈川県伊勢原市沼目6-1237 TEL: (0463) 92-8101 kikyoen@showakai.or.jp

あけましておめでとうございます。

皆様のご健康、ご多幸を

心より、お祈りしています。

2023年 元旦

まきよう苑 職員一同

新年を迎えて

「まきよう苑」は、介護老人保健施設としてリハビリテーションを軸に、より良い生活の質を高めるお手伝いをするのが目標です。それゆえ、「まきよう苑」では、「個」を大切に、当たり前前の日常生活を考え、これからは、一人一人が目標を決めて、当たり前前の生活をめざしたリハビリテーションを強化していきます。

リハビリの評価をもとに

個々の利用者ごとに、ご本人、ご家族ともご相談しながら、日常生活における目標を、慎重に決めて、そのためのリハビリテーションプログラムを作成、実施していきまします。そして、その目標達成状況を常に評価し、必要に応じてプログラムの修正、追加、そして、自主トレーニングプログラムの作成と指導を行ってまいりました。

その結果、まきよう苑通信25、26、そして、この27号で、各部門別(入所、通所、訪問)でのデータ解析結果とともに、その状況、リハビリテーションの有用性について、ご報告させていただきました。

これからも、利用者ご家族からはもちろん、地域、行政、医療機関、そして、職員からも、まきよう苑を「知って、利用して、良かった」と、言っていたり、ただけのような施設作りをめざします。

(施設長 小澤 明)



まきよう苑 訪問リハビリテーション

一人ひとりの生活の質の向上を目指して

(訪問事業部門 リハビリテーション部主任 越地 正樹)

【調査 その1】

まきよう苑訪問リハビリテーションでは、3ヶ月に1度、利用者の個別目標における目標達成率の評価を行っています。

【生活リハビリテーション目標の例】

- 例1) 四脚杖で屋外を300m歩行できる。
例2) 正確に文章を音読できる。

【方法】

各利用者の具体的な目標について、向上目標群と、維持目標群に分け、それぞれ3ヶ月間評価した目標達成率を調査。

【対象】

2022年1~11月、訪問リハビリを継続して利用していた利用者28名(向上目標群10名、維持目標群18名)。

【結果】(図1,2)

向上目標群:時間の経過とともに、向上の割合が増加し、低下の割合は減少した。
維持目標群:時間の経過とともに見かけ上、向上の割合は減少したが、維持が1.6倍に増加した。

図1 目標達成率(向上目標群10名)

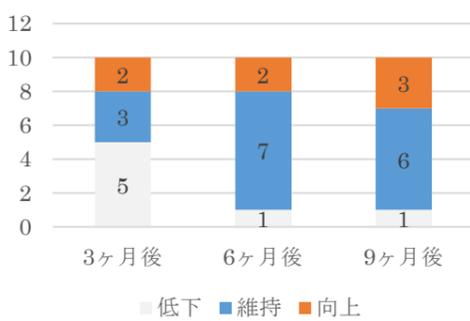
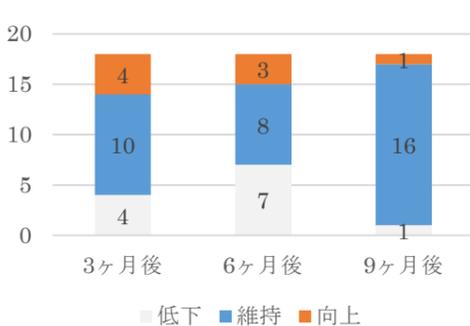


図2 目標達成率(維持目標群18名)



各利用者の生活目標を目指したりリハビリテーションでは、開始3ヶ月後には、50%~77.8%、9ヶ月後には90%~94.4%で、目標達成率が維持もしくは向上していました。
今後、各利用者ごとに、明確な生活リハビリテーションの目標を定め、目標に合わせたリハビリテーションを実施し、生活の質の向上を目指してまいります。

【調査 その2】

まきよう苑訪問リハビリテーションでは、担当者が各利用者に適した自宅で行う自主トレーニングメニューを考案し、日常生活で実践していただいています。

【方法】

向上目標群と維持目標群に分けて、それぞれの自主トレーニング実施率と目標達成率の相関性について調査。

【対象】

調査1と同じ、利用者28名。

【結果】(図3,4)

向上目標群(10名)、維持目標群(18名)ともに、自主トレーニング実施率と目標達成率には、正の相関が見られた。

- 自主トレの実施率が高い
目標達成率も高い。
自主トレの実施率が低い
目標達成率も低い。

図3 自主トレ実施率と目標達成率との相関(向上目標群 10名)

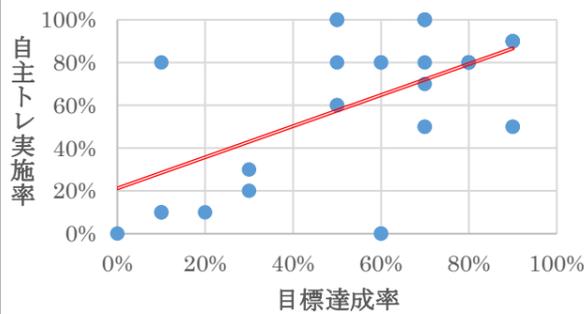
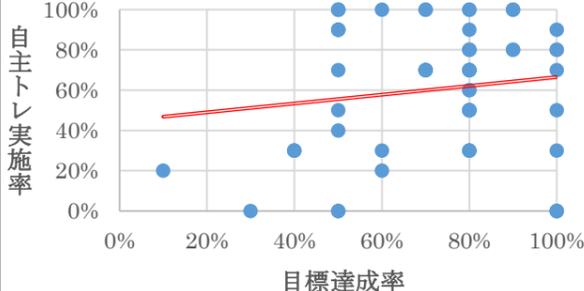


図4 自主トレ実施率と目標達成率との相関(維持目標群 18名)



調査の結果、日常生活での自主トレーニングには、生活の目標達成率を高める効果があることがわかりました。このように日常生活における自主トレーニングの実施により、訪問リハビリテーション以外での自主トレーニング効果が期待でき、また、目的を持った生活を過ごせるものと考えています。

今後、生活の質を向上できるように、利用者にとって最適な自主トレーニングを考案し、ご家族共々、ご理解とご協力を得ながら、苑でのリハビリテーションに加えて、日常生活での自主トレーニングを続けていただきたいと思います。



自主トレーニング風景(下肢筋力訓練)



自主トレーニング風景(音読訓練)

## 2022年度 ききよう苑 創立記念祭

11月6日(日)、ききよう苑創立記念祭を開催しました。一昨年度、昨年度、そして、今年度も新型コロナウイルスの影響を受ける形になり、残念ながら、ご家族、通所のご利用者、近隣の皆様をお招きすることが出来ませんでした。そのため、入所のご利用者と一緒に創立記念祭を開催させていただきました。



今回は、メダカすくい、多肉植物鉢植え、だるま落としなど、新しい試みの模擬店を行い、ご利用者の笑顔が多く見受けられました。昔ながらの駄菓子も召し上がっていただきました。

また、毎年恒例になってきております、職員によるききよう苑バンド(Ball Flower's Band)による演奏会を行いました。

昔懐かしい曲にご利用者も口ずさんでおられ、大いに盛り上がっておいりました。

来年度は、ご家族、通所のご利用者、近隣の皆様をお招きし、創立記念祭を開催出来るように願っております。

(創立記念祭実行委員 田島 拓也)

## ききよう苑における感染症の状況

「ききよう苑」では、新感染症法に従い、保健所の指導の下、感染症予防、対応策を行っています。引き続き、苑内における感染症拡大防止に努めてまいります。

なお、苑内における感染状況については、逐次、ホームページでご報告させていただいております。

引き続き、ご賢察のうえ、皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

(感染症委員会委員長・看護部主任 加藤 絢子)

The COVID-19 (2023年01月04日現在)	
ワクチン接種状況	
入所リハビリテーション利用者: 全員5回目接種済。	
職員	: 全員5回目接種済。
※ 接種を希望されない利用者、職員を除く。	
感染者(隔離療養中)	
入所リハビリテーション利用者: 2F-6名、3F-なし。	
職員	: なし。
隔離療養終了	
入所リハビリテーション利用者: 2F-21名、3F-なし。	
職員	: 11名。
インフルエンザ (2023年01月04日現在)	
予防接種状況	
入所リハビリテーション利用者、職員: 全員接種済。	
※ 接種を希望されない利用者、職員を除く。	
感染者	
入所リハビリテーション利用者、職員: なし。	

## 2022年度「伊勢原市介護予防教室」開催中

2022年度伊勢原市による地域支援事業の一環として、伊勢原東部地域包括支援センター主催で、今年度下半期の介護予防教室が昨年10月から開始され、ききよう苑の理学療法士が担当させていただいています。

昨年までに前半の第3回までを終えました。

第1回は、参加者のみなさんに体力測定を行っていただきました。

第2回以降は、健康に関する講座と、講座内容に即した運動プログラムを実施しています。本教室の目的である歩行状態を維持しつつ、参加者同士がつながりを持ち、楽しみながらご参加いただけるよう後半も工夫してまいります。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



日時..

2022年10月～2023年3月  
(毎月第2水曜日 10時～11時)

会場・伊勢原市 大田公民館

お問合わせ・お申し込み..

伊勢原東部地域包括支援センター花たば  
電話0463(97)4755

までお願いします。

(リハビリテーション部主任 越地 正樹)



## ベルフラワーズバンド 2022

### 通所クリスマススペシャルライブを開催しました!

12月7日、8日の2日間、通所リハビリテーションのご利用者と一緒に演奏会を楽しみました。

ギターや二胡(中国の伝統的な擦弦楽器)、ドラムの楽器と共に、日本の歌謡曲からビートルズの曲まで様々な歌をご利用者に楽しんでいただきました。

ご利用者からは、こんな演奏会を聞けるなら毎日来たい、との声も聞かれました。最後の曲が終わると、ご利用者からアンコールを受け、きよしこの夜などのクリスマスソングを演奏しご利用者と共にクリスマスを祝いました。



(通所事業部門介護部主任 熊澤 綾子)

## 栄養部より

### 「苑のおせち料理をご紹介します」



ききよう苑では1月1日～1月3日にかけて、施設入所中であっても、少しでも新年の気分を感じていただきたく、おせち料理を提供させていただきます。

お雑煮に入っているお餅は、高齢者の方でも食べやすい介護食用のお餅を使用しています。おせち料理を食べて、今年一年も皆様が元気にお過ごしいただけるよう願っております。



(栄養部主任 木我 みな美)

## 〈編集後記〉

新たな年が始まりました。

国内では、インバウンドの受け入れやToBキャンペーンとともに、全国各地に人々が溢れかたつての賑わいを取り戻しつつあります。

伊勢原でも道灌祭りや芸術花火大会などの催しが開かれ、町の賑わいも少しずつですが戻ってまいりました。

昨今では、人々の節度ある行動と周囲へのちよつとした気遣いで、人々が集うことができ、そこに調和が生まれる。そんな気がします。今年も、ききよう苑でたくさんの人々に出会えることを楽しみにしています。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

(広報委員会 越地 正樹)

